

令和4年10月1日

会員各位

跡見学園後援会

会長 見米 孝尚

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は会の運営に何かとご指導ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

後援会定期総会の書面議決の集計結果（R4.7.22付）を学園ホームページでご報告させていただきましたが、その際お伝えしました「学園との意見交換会」が9月8日に実施されましたのでご報告いたします。

昨年度に引き続き、理事長、常務理事の他、中学校高等学校校長と女子大学学長にもご出席いただいて、実際の教育現場の様子を伺うことができました。

## I 「令和4年度後援会予算の特徴について」 （補足説明）

令和4年度大学の新生が定員を下回り、会費収入が440万減となりましたが、令和3年度同様、以下のとおりコロナ禍における予算編成に努めました。

### 1. 学園への寄付金を減額

### 2. 育英資金助成費および積立金を減額し、助成費に組み入れる

修学援助を目的とした育英資金助成について、令和3年度申請者数が大学ではほぼ予算額での執行でしたが、中高では予算額を下回りました。一方、国際交流・課外活動の実施を希望する学生・生徒も多く、催行されることを前提に一般教育助成費を増額しました。

### 3. 新型コロナ対策教育支援寄付金を減額

依然コロナ禍ではありますが、令和2・3年度の2カ年でWi-Fi環境の整備、感染対策備品の購入など進めることができたので、今年度は減額することにしました。

### 4. 会議費の増額

令和2・3年度は会議・総会・懇親会などの中止により事業費・会議費は減額しましたが、令和4年度は開催および参加の増加を見込んで会議費を増額しました。通信費は今年度も書面総会となり令和3年度と同額としました。

### 5. その他 令和3年度の実績をもとに作成しました。

後援会としては、増額した一般教育助成費がどのように学生・生徒に活用されたのか検証していく予定です。今後ともご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## Ⅱ 役員選任について

現況、対面での活動が制限されており、規約に則り引き続き前年度の役員の方々にお諮りして、会員・縁故会員ご出席の常任役員会（6月11日開催）でご承認をいただきました。

※縁故会員：ご息女卒業後も会の趣旨にご賛同いただいている会員

（規約第3章第5条参照）

## Ⅲ 「学園との意見交換会」について（開催報告）

### 【主な内容】

後援会総会（書面議決）の際に、会員の皆様から頂戴した貴重なご意見に関しまして、この意見交換会で全てご報告させていただきました。

（抜粋）

- ・学生教職員が安心して対面授業や交流ができるようお願いしたい
- ・安全を考慮したうえで出来る限り課外活動や行事の催行をお願いしたい

コロナ禍の学校教育活動報告について、中学校高等学校校長、女子大学学長よりそれぞれ説明がなされました。

学園からは、コロナ禍で先送りされていた耐震や学生・生徒の学習環境向上のための設備改修について報告がなされました。大学は学生会館が令和4年7月に竣工、中高は多目的スペース建設に向けて準備を進めています。

（中高）

- ・少しでも多くの行事・課外活動が実施できるよう工夫をする。
- 9月に文化祭開催、宿泊行事を実施。

（大学）

- ・秋学期より対面授業を基本に、分散登校などで学バスの混雑に対処する。
- 密を避け、教室定員の7割程度で対面授業を行う。空気清浄機の設置、換気の徹底。
- ・学習はもとより、キャンパスでの人的交流を大切にしていきたい。

以上